

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

O' s Wood House

グループの名称

O' s Wood Project

直近採択グループ番号

06-0156-0770

(グループ代表者)

代表者名

大塚 敦子

代表者印

代表者所属先

株式会社大塚木材

代表者所在地

大分県大分市南生石東7組

代表者電話番号

09-7535-0522

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社大塚木材

事務局担当者名

高崎 博明

印

事務局郵便番号

870-0010

事務局所在地

大分県大分市南生石東7組

事務局電話番号

09-7535-0522

事務局FAX

09-7537-3224

事務局担当者E-mail

ootsuka-mokuzai@sage.ocn.ne.jp

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		1	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		1	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		2	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		7棟				
					800㎡				
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		2棟				
					230㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	基本的には未経験工務店を優先的に配分し、受注環境を考慮してグループ内の工務店に配分する。								
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	㎡	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) O's Wood House	(地域型住宅供給対象地域) 大分県全域及び隣接他県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) O's Wood Project	(結成年) 2015 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0156-0770	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	九州の温暖な気候で育った杉、桧はブランド材も多く直材であり構造材に適しており材質は比較的強固である。また樹脂も多く粘り強いため、折れにくい。このようなことから構造材に九州材の利用を推進する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	構造材で良質な木材を使って実現する強構造、材質を活かした温かさ、柔らかさを提供する家づくり。環境に配慮し次世代に引き継いでいける家。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	大分県は温暖な南部・中部、寒冷な北部・西部と地域性があることから夏の暑さ、冬の寒さに配慮したデザイン。各地域の風土に応じた歴史的町並みも合う流行に左右されない長く使えるデザイン。	◎
④①～③の背景	長く愛着を持って次世代へ引き継いでいける家を前提とし、安心・安全・温もりを感じる家づくり。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	九州材の積極的な使用を促し、木材の地産地消を推進することによって地域気候風土に合った家づくり。	◎

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 土台は桧、柱は杉の乾燥材、通し柱は杉乾燥材120mm以上を使用。	◎
①-2 使用建材の統一	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 構造材に関しては合法木材とし、断熱等性能等級4とする。	◎
②-1 建材・資材調達のコスト削減	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 主要構造材の土台・柱はグループ内において規格化されている部分の集中購入をしてコストダウンを図る。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局が集中管理をして施工店に受注物件の有無を確認する。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 委員会は設置していないが定期的に研修会を実施、共通ルール・施工技術の確認を行う。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期的な研修会の実施。メーカー・問屋と連携し基準に合った新商品のPR。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: メーカー・問屋と連携を図り、全国展開のサポート機関を利用し、施工基準を全国標準レベル以上になるよう努力する。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅・省エネ型住宅の申請時もグループ内設計士による確認。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内の施工店が見積作成ルールを作り、標準化する。サポート体制として納入する販売店の一本化を図る。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 完成見学会等のイベント時にグループのブースを設置し、施主に対して相談・説明のPR活動。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 新規参入の施工店はグループ内で施工技術の研修を行う。	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 基本的には施工店主導で行う。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 着工中の作業を安全に行うために事故・労災の防止を徹底する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	原木供給業者から製材業者までを充実させることにより、時期的な価格の高騰、相場の変動に対応し、適正な価格の維持に努める。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) O's Wood House	(地域型住宅供給対象地域) 大分県全域及び隣接他県	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) O's Wood Project	(結成年) 2015 年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0156-0770		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 新築時の設計図書、打合せ記録等の保管管理。	◎
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 点検時に使用するグループ共通のチェックシートを作成、記録はグループ内で共有する。	◎
		②-2 補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 補修に関しては住宅履歴に蓄積し、いつでも確認できるようにする。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「住宅管理履歴」からの指定点検時期を基準とする。	○
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ構成各社のイベントでの相談会・体験会の実施。	○
		③-2 DIY体験会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
		③-3 その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 上記のイベント内において施主のアフターケアを目的とするアンケート方式のチェックシートの実施。	○
	④ 維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内で任期制をとり、担当構成員による2ヶ月に一度の維持管理委員会の設置。	◎	
	⑤ その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 不測の事態が生じた場合、請負契約書・設計図書一式を事務局に提出の上グループ構成員で完成を保証する。	◎
② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 瑕疵が起きた場合、委員会が内容と対策をグループ内に発信し改善を促す。		◎	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	定期メンテナンス実施書類の写しを事務局に提出し、実施状況を把握する。またグループ共通の維持保全計画書を作成、活用することで点検漏れの無いようにする。		○
エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内の経験施工店・経験設計士による情報の共有。外部講師による施工技術研修会の実施。	◎	
	②-1 品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 大前提にある九州材の地産地消の為に原木からプレカット業者までの流通を固定化。	◎	
		②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 合法木材証明制度の活用。	◎
	③-1 需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局と施工店が話し合い、年度ごとに目標を設定する。	○	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内施工店同士の構造見学会を実施、断熱材・気密の施工方法を共有し、他の施工店との差別化を図り、ローコスト・ハイグレード住宅の実現に努力する。	○	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 断熱材や気密材を一本化する一方で、施工技術者への省施工・新材の研修会の実施。	○	
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 5 今年度の参加目標人数 5		
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 5 今年度の参加目標人数 5		
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局による講習会日程の告知、代表者のみでなく図面に携わる全ての人員に参加を促す。	◎	
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: メーカー・問屋主催の新商品展示会への積極的な参加とグループ構成員内での情報の共有。	◎	
	② 新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 採用可能な新商品は積極的に導入し、採用業者はグループ内への導入検証結果の報告義務化。	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	事務局を中心に国が主導する補助制度を率先して利用できるよう解説セミナーや告知を行い、活用を促進し趣旨理解を促し知識や技術を習得する。新しい制度・仕組みも積極的に取り入れる。		◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) O's Wood House	(地域型住宅供給対象地域) 大分県全域及び隣接他県												
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) O's Wood Project	(結成年) 2015 年												
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0156-0770													
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。														
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
a	地域材利用に関する													
①	共通 ルール(必須)	大分・熊本・宮崎・佐賀・長崎の原木供給から製材までを合法木材認定を受けたグループ構成員より供給されたものを基本的に強度・使用部位に応じて海外産の合法木材の使用も地域材として認定する。												
②	地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上												
③	標準的な地域材の使用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
④	地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	北部九州を中心に林業が盛んな地域から上質な木材を原木・素材の段階から取り扱い、熟練した製材所によって製品化されたものを運輸して高精度のプレカット加工、さらに建築現場までの運輸といった一連の流れを一般化し、携わる業者を増やすことによって地域の活性化を図る。												
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内の原木供給・製材業者が充実している為、各県の相場・市況を事務局が把握し施工店へ案内する。												
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 上記と同様にグループ構成員が各県にいることで価格の偏りを無くし安定供給を実現する。												
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 構造材1棟当り15㎡~20㎡として過半以上、さらに羽柄材にて使用。												
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 60枚												
	①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数 120坪												
	①-3 襖の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	①-4 障子の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 壁・天井・外壁等の仕上げ材を漆喰・塗り壁・木質にする。												
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 上記を使用することで日本伝統の技術の衰退を防ぎ、シックハウス対策にも充当させる。												
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 大分には江戸時代に幕府直轄の天領日田があり古い町並みを参考にし、現代の省エネ要素をプラスする。												
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 日田・玖珠といった林業の盛んな地域より木材の長所・短所を学び、家との付き合い方を施主にレクチャーする。												
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 周囲の景観を損なわないように配慮した色使い、建物の形状を施主に対して提案する。												
	④ 和の住まいの要素を取り入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 昔ながらの内装仕上材を積極的に取り入れ衰退しつつある業種の活性化を図り「健康とエコ」を推進する。												
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	地域イベントへの積極的な参加。住宅建設時における廃材や間伐材等で木のおもちゃを製作し子供たちに木材に親しんでもらう機会を提供する。												
カ. その他														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
	東日本大震災の復興に資する取組	東北地方の特産品・伝統工芸品等をインテリアの部分で提案する。												
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	我々も大分で被災した構成員もいるなかで、熊本・大分の復興において被災地域の木材・資材を使い良質な住宅を供給することで微力ながら復興の一端とする。												

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> O's Wood House	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 大分県全域及び隣接他県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> O's Wood Project	<small>(結成年)</small> 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0156-0770	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<p>当グループは施工業者 5社に対して原木供給 12社、また製材業者 18社とサポート体制を充実させることにより安心・安全な木材の安定供給を可能にするとともに、北部九州各県にグループ構成員を配置することにより木材の不測の事態にも対応できるようにする。さらに近年主流であるLDKのあるスパンが飛ぶ間取りに対応する為に5M・6Mは集成材大断面を奨励し、集成材に関しては日本集成材工業組合の組合員のものとする。また外国材使用であっても原木輸入と製材を一社で製造ラインが整ったもの、合法木材であるものを使用することによって国産材でなくても安心・安全な木材の使用を実現する。これをグループ内で補うことによって地域的特色のある強構造を実現する。</p> <p>なお高度省エネについてはパッシブハウスの考え方を基本とし、自然の光・風を活かせるように軒先を低く長く出す等の自然を利用しランニングコストの軽減を図る。断熱先進国であるヨーロッパ諸国の住宅建築を積極的に取り入れる。グループの活動・取り組みを広くPRする為に地域材使用の分かるポスター等を建築現場に提示して地域材利用促進に努める。</p> <p>なお、認定低炭素住宅に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ①1次エネルギー消費量を10%以下に削減すること。 ②木造住宅であること。 ③節水機器を設置し、利用すること。 <p>ゼロエネルギー住宅</p> <ul style="list-style-type: none"> ①太陽光発電を除くエネルギー削減率を21.0%以上とする。 ②全体のエネルギー削減率を115.0%とする。 ③外皮平均熱貫流率を0.6とする。 ④BELS認証の取得。 		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。